

連載 第6回 『試聴室探訪記』

～谷口とものり、魅惑のパノラマ写真の世界～

パイオニア プラザ銀座

フォトグラファー 谷口 とものり

編集委員 森 芳久



今回は、今年2月にオープンした「パイオニア プラザ銀座」の視聴室を訪問いたしました。

「パイオニア プラザ銀座」はその名が示すように、銀座中央通りから、マロニエ通りを有楽町駅に1ブロック入ったデビアス銀座ビル内に設けられ、1階、2階がパイオニアの新しい技術や最新の商品などの体感・体験、そして地下1階が同社の誇るハイエンドオーディオ TAD の最高級の音、大スクリーンによるホームシアターなどが体験できる視聴室となっています。

TADとは Technical Audio Devices の頭文字から命名され、1975年にパイオニアが最高級スピーカーを開発するときに、その技術顧問として参画した米国のプロオーディオの第一人者だった故バート・ロカンシーの「基本に忠実な技術こそ本物の技術であり、技術志向に傾くことなく、常に音質を最重視する技術こそ本物の技術である」という理念に基づく、“綿密な理論検討と正確な実験に裏付けられた工学的アプローチの手法”を表現したものです。TADスピーカーは米国のプロ業界で成功し、その後日本を含む世界の多くのスタジオで評価されました。

2007年、TAD Reference One スピーカーをコンシューマ用としても発売、パイオニアのフラッグシップ・スピーカーとなりました。その後 TAD Compact Reference CR1、モノラルパワーアンプ M600、ディスクプレーヤーのフラッグシップモデル D600、プリアンプ C2000 などが加わり、フラッグシップのフルラインナップが完成しました。

この最高級の音を体感できるのがここ「パイオニア プラザ銀座」地下1階の視聴室です。但し、この視聴室はホームシアター(12:00～14:00)、DJ 機器(16:00～18:00)などの視聴体験も行わ

れていますので、TAD の視聴時間帯は 14:00~16:00 となっています（但し、イベントなどにより時間帯が変更になる場合があります）。

さすが TAD の最高級品によるサウンド、その端整で格調のある音は故口カンシーの面影を残しています。銀座の雑踏に疲れたら、ここで TAD による最高の音を楽しみ、しばしミュージックの世界に身を委ねてみてはいかがでしょうか。

（編集委員 森 芳久）

「パイオニア プラザ銀座」



住所 : 中央区銀座 2-5-11
デビアス銀座ビル 1F・2F・B1F
開館時間 : 11:00~19:00 (火~日曜)
休館 : 月曜 (月曜が祝日の場合は翌日)
交通 : JR 線有楽町駅より徒歩 5 分、
東京メトロ銀座線・丸の内線・日比谷線
の銀座駅より徒歩 4 分
同有楽町線銀座一丁目駅より徒歩 2 分

フロア案内: 2F 有機 EL 大型ディスプレイ、ヘッドフォン、ホームオーディオ・iPod 用
スピーカー・単品コンポ、ホームシアター、カーナビゲーション・カーAV
1F ハイライトエリア、サウンドクーン、ニューテクノロジー、
ニューカーライフコンセプト、サイクルコンピューター
B1F 視聴室... TAD、ホームシアター、DJ 機器

「パイオニア プラザ銀座」のホームページは : <http://pioneer-ginza.jp/> です。

パノラマ画面の操作説明

- パノラマ写真は、[ここ](#)か、前ページの[視聴室画像](#)をクリックしてご覧ください。
(ローディングに若干時間がかかる場合があります。)
- スピーカー等、マウスを当てて、クリックすると機器名が表示されます。
- マウス操作で、画面を上下・左右 360 度、自在に回転してご覧いただけます。
- 画面下にある操作ボタンで次の操作ができます。
 - + 画面のズームイン
 - 画面のズームアウト
 - ← 画面の左移動
 - 画面の右移動
 - ↑ 画面の上方向への移動
 - ↓ 画面の下方向への移動